

第33回オリンピック競技大会（2024／パリ）代表選手選考基準（競泳）

第1 編成方針

- 1 公益財団法人日本オリンピック委員会及び公益財団法人日本水泳連盟（以下「本連盟」という。）の編成方針を順守できる者を日本代表選手団として選考する。
- 2 選手全員が決勝に進出し、金メダルを含む複数のメダル獲得を目指せる日本代表選手団を派遣する。

第2 選考の対象となる大会

2024年3月開催予定の国際大会代表選手選考会（第33回オリンピック競技大会代表選手選考会。以下「選考対象大会」という。）決勝競技の競技結果により選手選考を行う。

第3 選考手続

個人種目・リレー種目について、本連盟選手選考委員会が、選考対象大会終了後、第4及び第5に基づき選考する。

第4 選考基準（個人種目）

- 1 選考対象大会決勝競技別紙「第33回オリンピック競技大会（2024／パリ）派遣標準記録」の派遣標準記録Ⅲ以上を突破した選手を選考する。
- 2 前項の記録を突破した選手が3名以上いる場合は、上位2名を選考する。上位2名までの者の中に、同じ記録の者が複数存在するために、上位2名を決定することができない場合は、スイムオフを実施し、その上位者を選考する。スイムオフの実施方法は競技委員会がその都度決定する。

第5 選考基準（リレー種目）

- 1 リレー種目は、①World Aquaticsにより出場資格が与えられたリレー種目について、②下記2から4で定める記録を突破した場合に選考する。
 - 2 フリーリレー
 - (1) 4×100mフリーリレーは、選考対象大会の100m自由形決勝の上位4名の合計記録が別紙「第33回オリンピック競技大会（2024／パリ）派遣標準記録」の派遣標準記録Ⅲ以上を突破した場合に選考する。
 - (2) 4×200mフリーリレーは、選考対象大会の200m自由形決勝の上位4名の合計記録が別紙「第33回オリンピック競技大会（2024／パリ）派遣標準記録」の

派遣標準記録Ⅲ以上を突破した場合に選考する。

- (3) (1) (2) の場合で、上位4名までの者の中に、同じ記録の者が複数存在するために、上位4名を決定することができない場合は、スイムオフを実施し、その上位者の記録を基礎として選考する。スイムオフの実施方法は競技委員会がその都度決定する。
- (4) フリーリレーについては、(1) から (3) によって決定した上位4名を出場予定選手として選考する。

* なお、リレー種目（フリーリレー、メドレーリレー、ミックスメドレーリレー）については、出場予定選手以外の選手は選考しないこととする。

リレー種目の出場予定選手が個人種目において選考されていない選手（これを「リレーオンリースイマー」という。）である場合、World Aquatics の「Qualification System」上、リレーオンリースイマーの出場登録数に規定があるため、リレーオンリースイマーとなり得る選手数が規定を上回る場合、別紙「2024年 パリオリンピック派遣標準記録」の派遣標準記録Ⅱ到達率の高いリレー種目から選考する。この場合、各選考基準は満たしているものの、選考されないリレー種目も生じ得ることとなる。

3 メドレーリレー

- (1) メドレーリレーは、該当種目（100m背泳ぎ、100mバタフライ、100m平泳ぎ、100m自由形）の優勝者の合計記録が別紙「第33回オリンピック競技大会（2024/パリ）派遣標準記録」の派遣標準記録Ⅲ以上を突破した場合に選考する。
- (2) 前項の該当種目のうち2種目以上で優勝した者がいる場合には、合計記録が最高となるよう、当該優勝者の記録を適用する種目を選定し、また、当該優勝者の記録が適用されなかった種目について次点の者の記録を適用し、合計記録が別紙「第33回オリンピック競技大会（2024/パリ）派遣標準記録」の派遣標準記録Ⅲ以上を突破した場合に選考する。
- (3) メドレーリレーについては、(1) または (2) の合計記録を算出する基礎となった記録を出した選手4名を出場予定選手として選考する（上記*も参照のこと）。

4 ミックスメドレーリレー

- (1) ミックスメドレーリレーは、8つの該当種目（100m背泳ぎ男女、100mバタフライ男女、100m平泳ぎ男女、100m自由形男女）の優勝者の合計記録を男女2種目ずつとなるよう組み合わせ、最高となる合計記録が別紙「第33回オリンピック競技大会（2024/パリ）派遣標準記録」の派遣標準記録Ⅲ以上を突破した場合に選考する。

- (2) 前項の該当種目のうち2種目以上での優勝した者がいる場合には、合計記録が最高となるよう、当該優勝者の記録を適用する種目を選定し、また、当該優勝者の記録が適用されなかった種目について次点の者の記録を適用し、合計記録を男女2種目ずつとなるよう組み合わせ、最高となる合計記録が別紙「第33回オリンピック競技大会(2024/パリ)派遣標準記録」の派遣標準記録Ⅲ以上を突破した場合に選考する。
- (3) ミックスメドレーリレーについては、(1) または (2) の合計記録を算出する基礎となった記録を出した選手4名を出場予定選手として選考する(上記*も参照のこと)。

第6 補足

1 繰上選考について

- (1) 個人種目において、代表選手が、選考決定後に疾病・怪我等のやむを得ない事情により欠場する場合、別紙「第33回オリンピック競技大会(2024/パリ)派遣標準記録」の派遣標準記録Ⅲ以上を突破した次点の選手を繰り上げて選考する場合がある。
- (2) リレー種目においては、上記事情により欠場する選手の出場予定種目の次点の選手を繰り上げて出場予定選手として選考する場合がある。
- (3) (1) (2) いずれの場合も、本連盟選手選考委員会が決定する。

2 選考決定後のエントリーについて

全てのエントリーは、World Aquatics のルールのもと、最終的にチームの監督とヘッドコーチが決定する。

以上